

第 75 期第 1 回男女共同参画推進委員会議事録

日 時：2019 年 5 月 27 日（月）10:00～14:05

場 所：日本物理学会 大会議室（東京都文京区湯島 2-31-22 湯島アーバンビル 4 階）

出席：野中（委員長）、遠山（副委員長）、市川、糸井、佐野、曹、中本、野尻、
福島、藤井、藤原、細越、山本（以上委員）
鹿野（以上オブザーバー）
根岸、宮野、山口、岡村（事務局）

欠席：門、比連崎

（敬称略）

【配布資料】

1. 前回議事録
2. 第 75 期男女共同参画推進委員会名簿
- 3-1. 第 74 回年次大会の男女共同参画推進ランチョンミーティングの報告
- 3-3-1. 大会託児室利用規約
- 3-3-2. 同意書
- 3-3-3. 託児室変更申込案内
- 3-3-4. 第 74 回年次大会の託児室利用報告と秋季大会託児室の進捗状況
4. 女子中高生夏の学校 2019
6. 第 17 期学協会連絡会タイムスケジュール
- 6-1. ①シンポジウム企画案
- 6-1. ②第 16 回シンポジウムご案内
- 6-1. ④シンポジウム会場について
- 6-1. ⑤連絡会予算、会計報告
- 6-1. ⑥共催・後援について
- 6-3. 第 2 回運営委員会議事録
- 6-5. 英訳 WG 報告
8. 東大・横山先生からアンケート調査依頼
9. 日本物理学会女性科学者賞（米沢富美子賞）
10. APPC2019 マレーシア概要、Abstract
12. ジュニアシダ賞の応募募集

会議に先立ち、委員の自己紹介がされた。

【議題】

1. 前回議事録案の確認
委員会終了までに各自で確認し、変更点無しとし承認された。
2. 4 月からの委員について
・夏学のサブ担当者の後任を、門委員・比連崎委員に野中委員長より依頼することとな

った。

- ・委員が退任する時はメールで確認をする。
- ・学協会連絡会メーリングリストから森初果オブザーバーを外すことが承認された。

3-1. 2019年3月のランチョンミーティング報告

資料に沿って第74回年次大会で開催されたランチョンミーティングの報告があった。

会議詳細：

日時：2019年3月14日 12：30-13：30

場所：九州大学 伊都キャンパス K211 室

内容：

- ・配偶者帯同雇用など九州大学の男女共同参画の取り組みについて
- ・物理学会の発表者数などに関しての男女差について

良かった点：開始時間を遅らせたことや宣伝が良かったこともあり、参加者人数が増え（41名、前回は31名）、様々な方も来場されてた印象があった。

悪かった点：弁当の注文を失念していたため、今後は事務局が手配をすることとした。ランチョンミーティングの周知及び登録方法等について意見交換された。

3-2. 広報 HP

- ・HP 掲載内容について現状を再確認した。夏学と関西科学塾の情報は、それぞれの HP へリンクすることとなった。今後は、男女共同参画推進委員会 HP を市川委員が担当することが承認され、現在更新すべき箇所については、後日、市川委員がメールでアンケートをとることとなった。また更新の手順を決めた方が良いのではないかと意見が出された。

3-2. 年次大会託児室報告と秋季大会託児室進捗状況

- ・第74回年次大会託児室について報告があった。

開設：2019年3月14日（木）～3月17日（日）

時間 8：45～18：00（最終日は16：00まで）

場所：九州大学伊都キャンパス

業者：株式会社アピカル

託児室担当：市川、糸井、稲垣、野尻、山口

申込件数：4家族

- ・秋季大会託児室進捗状況

開設：2019年9月17日（火）～20日（金）

場所：素核宇 山形大学（小石川キャンパス）

業者：クレアママメイドサービス

担当者：市川、安東、野中、山口

開設：2019年9月10日（火）～13日（金）

場所：岐阜大学

業者：グットライフ

担当者：糸井、住浜、野中、山口

・業者の利用規約と同意書を使用していたが、今後は日本物理学会の託児室利用規約と託児サービス同意書を使用することが提案され、利用規約案、同意書案と共に承認された。

4-1. 中高生夏の学校について

資料に沿ってNPOとしての現状が報告された。

- ・担当の委員が退任のため、早急に後任を決定することが必要である。2019年夏学のポスター締切6月14日、実験の申込締切6月7日に対応する。
- ・夏学参加の事前と事後のアンケートとまた追跡調査では、意識の変化が顕著であることが読みとることができた。
- ・夏学14年間のあゆみの冊子版がほぼ完成した。
- ・今後、NWEC（国立女性教育会館）の場所を借りることができるが、運営に関してタッチをしなくなるのが課題となっていることが説明された。

4-2. 関西科学塾について

2018年度の実施状況について報告された。

- ・2018度は、京都大学が幹事校として全6校で、7月からスタートをし、実験体験・交流会・講演会が開催されることが報告された。
- ・約1,600人の申込があり、抽選にて参加者約800人とした。うち、実際の参加者は約600人であった。
- ・協力をいただいている企業の状況によって今後の財政上に懸念があることが説明された。

5. 日物応物連絡会について

特になし。

6. 学協会連絡会関係

今後のタスク・必要人員をタイムスケジュール表に沿って確認をした。

<第3回運営委員会>

- ・日時と場所：8月30日 15:00-17:00 東大駒場キャンパス 18号館ホール
- ・議事録係・・・福島委員・佐野委員
- ・連絡会 マイク係：糸井委員
- ・各ワーキンググループに、運営委員会に提出する当日資料の有無と、運営委員会後のワ

ーキングの開催予定を、7月上旬に事務局から問い合わせる。8月1日を締切とする。

<シンポジウム案>

- ・シンポジウムテーマ:藤井委員・鹿野委員
- ・シンポジウム講演・来賓依頼:野尻委員・遠山副委員長
- ・シンポジウムのポスター作成:鹿野委員、事務局が配布先と締切を確認する。
- ・シンポジウムアルバイト手配:曹委員
- ・パネル討論会の総合司会:野中委員長
- ・アブストラクト回収:(前半)福島委員、(後半)佐野委員
- ・当日総括:鹿野委員
- ・ポスター会場資材手配・準備:曹委員
- ・懇親会手配:懇親会会場の候補は生協とカフェの2か所で、どちらになるかは未定
曹委員、遠山副委員長、会計は糸井委員
- ・シンポジウム記録:前半部分は次期幹事学会、後半部分は次々期幹事学会
- ・ランチ弁当:手配(曹委員)、受付(中本委員、市川委員)
- ・受付関連準備(事務局と連携):遠山副委員長、曹委員、糸井委員、中本委員
- ・託児室:市川委員、契約までを事務局が行う。
- ・ネットワーク関係:
- ・後援依頼:12機関(事務局)、附属書類(野尻委員)

6-1-①.シンポジウム企画案

- ・資料に沿ってスケジュール内容、講演者とタイトルについて説明があった。
- ・パネルディスカッションのタイトルは、「科学・技術分野の次世代育成と環境づくり」

6-1.⑤執行予算状況

- ・予算案の大規模アンケート英文抄訳が大きく影響するため金額を早めに確定する。
- ・WG活動費のリーフレット作成費と要望書が突出していることが報告された。

6-5.第4回英訳WG報告

- ・資料に沿って、現在は英文確認作業までほぼ完了している状況が報告された。

6-6.新WG報告

- ・法人化について検討中であることが報告された。

6-7.女性比率調査

- ・Google Formでデータ収集:遠山副委員長、糸井委員
- ・女性比率調査と運営検討WGの「学協会運営委員会の活動について」のアンケートを6月1日に周知する予定。**【委員会後、8月の第3回運営委員会で調査を周知する必要があることが判明したため、8月末に変更】**

リエゾン配信は、宮野職員が担当する。

7.日本物理学会誌の推進室だより

- ・前期は、会誌にアテナプログラムなど3回、巻頭言を掲載した。
- ・次のテーマとしてランチョンミーティングが提案された。

8.東大・横山広美先生のアンケート調査について

領域メールアドレスに送られた経緯が説明された。男女共同参画推進委員会ほどの程度関与し、どのような立場にあるかが確認された。内容について議論され、アンケート終了後に改めて議論することとなった。

9.日本物理学会女性科学賞（米沢富美子賞）

事前に行ったメールでの意見交換を踏まえ、規程・細則・主旨等について議論された。若手賞については賛同をする意見が多かったが、シニアに関しては女性限定の賞とすることに全員反対という意見が多く、野中委員長が意見の取りまとめをして、理事会のメーリングリストに報告することとなった。

10.APPC2019 マレーシア出張について

野中委員長、野尻委員が出張者として承認された。今後、手続きを進めることとした。

12.ジュン アシダ賞の応募募集について

募集内容の説明がされ、物理学会からは個人の推薦はしないこと、また機関としての応募もしないことが確認された。

- ・輝く女性研究者賞は、個人が自薦・他薦を問わず応募。
- ・輝く女性研究者活躍推進賞は、ロールモデルとなる取組を行っている機関が応募。

以上